

第1章 腹腔鏡下手術での癒着防止材の

シート、フィルム、スプレアの使い分け、使用方法

- 第1節 産科婦人科手術における癒着防止剤の選択と使用方法
- 第2節 不妊防止のための癒着防止剤の使用
- 第3節 大腸外科における癒着防止剤の使い分けと使用方法
- 第4節 胃がん手術における癒着防止剤の使用法
- 第5節 肝胆膵外科での各種癒着防止材の選択と使用方法
- 第6節 胸部手術後の癒着と癒着防止材へのニーズ
- 第7節 心臓血管外科領域での癒着防止材の使用現況と今後の展望
- 第8節 脳神経外科における生体吸収性外科材料の使用と癒着トラブル及び癒着防止への工夫
- 第9節 小児腹腔鏡手術における癒着防止剤の選択と使用方法
- 第10節 耳鼻咽喉科領域での癒着トラブル事例と癒着防止策
- 第11節 整形外科領域における癒着の問題点、癒着の予防策について
- 第12節 癒着防止加工メッシュを使用した腹腔鏡下ヘルニア修復術
- 第13節 術後癒着性腸閉塞に対する癒着防止材の予防効果
- 第14節 再肝切除における癒着防止材の安全性および有効性
- 第15節 鉗子の洗浄ポートを利用した癒着防止剤貼付法の工夫

第2章 癒着状態の評価法

- 第1節 腹腔鏡手術前後の超音波を用いた癒着マッピング
- 第2節 婦人科におけるセカンドルックヒステロスコピーによる術後の癒着評価
- 第3節 胸腔内癒着評価
- 第4節 消化器外科領域での癒着防止材の有効性の評価の現状

第3章 局所止血材の選択と使用方法

- 第1節 漏出性の消化管出血に対する医療材料ニーズ
- 第2節 脳神経外科での局所止血材の効果的な使い方
- 第3節 心臓血管外科での局所止血材の効果的な使い方
- 第4節 局所止血剤の被覆材としての使用
- 第5節 乳癌手術における局所止血剤の使用と使い分け
- 第6節 腹腔鏡下肝切除術時における止血材（剤）の使い分け
- 第7節 消化器外科における止血剤の使い分け
- 第8節 産婦人科での局所止血材の選択と使用方法
- 第9節 内視鏡治療における吸収性局所止血材の有効性

第4章 血管修復材、狭窄防止材、組織補強材の

使用と新しい材料開発

- 第1節 生体性吸収性材料を使用した心臓血管修復手術材料の開発
- 第2節 狭窄予防に用いる処置具と臨床ニーズ
- 第3節 直腸ESD後穿孔を防止・修復するための接着剤の使用法
- 第4節 眼科でのバイオマテリアル開発 ～シーラント材～
- 第5節 吸収性組織補強材PGAシートの適合性
- 第6節 呼吸器外科における組織修復材の使用について
- 第7節 下部消化器外科での吸収性組織補強材の使用法

第5章 癒着モデル動物による評価法

- 第1節 術後癒着モデルの作製とキマーゼ阻害薬の癒着防止効果の検討
- 第2節 犬開胸モデルの作製と術後癒着防止効果の検証

第6章 新しい材料による癒着防止材、止血材としての有用性

- 第1節 体温でゲル化する吸収性ポリマーの癒着防止材への応用
- 第2節 子宮鏡手術後の子宮内腔癒着防止剤としてのシリコンプレートの有用性
- 第3節 デキストランをベースとしたLYDEX癒着防止材
- 第4節 新たな生体吸収性骨髄止血剤の開発
- 第5節 医療デバイスとしてのシルクフィブロインの利用および癒着防止材への応用
- 第6節 穿孔閉鎖能と癒着防止能を有する創傷被覆粒子の開発
- 第7節 分解性を制御したヒアルロン酸誘導体を用いた注入型癒着防止剤の開発
- 第8節 マイクロニードル技術の局所止血創面被覆材への応用

第7章 細胞シートによる

狭窄予防、気漏閉鎖、癒着防止の治療法の開発

- 第1節 細胞シート移植による鼓膜癒着防止
- 第2節 中皮細胞シートによる腹膜再生ならびに癒着防止効果
- 第3節 食道ESD後の狭窄予防のための細胞シート治療
- 第4節 肺気漏閉鎖に用いる細胞シートによる代用胸膜

第8章 生体吸収性金属材料、医療用ポリマーによる

外科材料の使用法と材料開発

- 第1節 整形外科での生体内分解吸収性骨接合材の使用法
- 第2節 新規マグネシウム合金を用いた生体吸収性外科クリップの開発
- 第3節 生体吸収性無機/有機骨補填材の生体内動態とその機序
- 第4節 口腔外科領域における吸収性骨接合材料の使用法
- 第5節 新規生体吸収性骨接合材料
- 生体活性骨伝導生体吸収性プレートの有用性に関する評価と臨床応用の現状 -
- 第6節 医療材料としてのコラーゲンと硬膜閉鎖及び修復のブレイクスルー
- 第7節 脊椎脊髄手術における吸収性人工硬膜の使用法

第9章 生体吸収性医療機器の薬事申請、製品化プロセス

- 第1節 生体吸収性医療機器のクラス分類、薬事申請
- 第2節 生体吸収性医療機器の製品化

第10章 生体吸収性医療材料の生物学的安全性評価

第11章 医療材料の滅菌法の選択、滅菌プロセスの留意点

- 第1節 エチレンオキシドガス（EOG）滅菌による無菌性保証と酸化エチレン滅菌処理残留物対策について
- 第2節 放射線滅菌による無菌性確保

詳細な目次・内容の確認、
購入や試読のお申込みはこちらから



<申込要領>

●本書は一般書店では取り扱いをいたしておりません。
右記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。
ホームページからも申込みできます。 <https://www.gijutu.co.jp/>
申込書が届き次第、書籍・請求書をご送付いたします。

●支払方法

銀行振込または現金書留にてお願いいたします。
郵便振替はございません。 振込手数料はご負担ください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。

●お申込・お問い合わせ先

 **技術情報協会**
TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

〒141-0031
東京都品川区西五反田2-29-5
日幸五反田ビル8F
TEL：03-5436-7744（代）
FAX：03-5436-7745〔申込専用〕

「生体吸収性外科材料」(No.2239) 申込冊数

.....冊

定価：88,000円(税込)

会社名			
所属			
氏名	e-mail		
住所			
TEL	FAX		
今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。 (現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便) ・ FAX ・ e-mail]			
【個人情報の利用目的】 ・ 商品の受付、商品発送、事務処理、アフターサービスのため ・ 今後の新商品・新サービスに関するご案内のため			